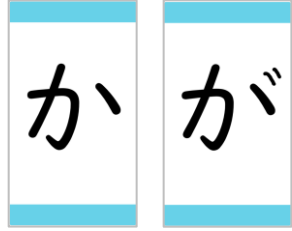
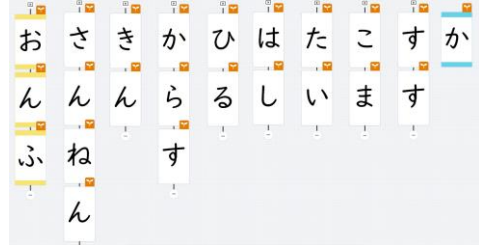




学年	教科等	単元等	活用アプリ
小1	国語	書く・作る「てんてんとまるをつけよう」	オクリンクプラス ペンツール
授業 内容	てんてんやまるをつけて、ちがうことばをつくろう		<p>いちばん最初に送るカード「か」と、濁音をつけた例</p>  <p>カード</p>  <p>取り組み例</p>  <p>共有コード</p> <div> <p>共有コードを入力、またはカメラを起動して二次元コードを読み込む</p>  </div> <p>pb01KP5GHSXT4WYYX1R0VM5DMN32</p>
授業 準備	<p>準備：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>共有コードを使用してカード（10種類）を取得する。</li> <li>準備したカードのうち、「か」のカードを子供たちのマイボードに送信する。</li> </ul> <p>授業の流れ：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>各自マイボードに送られたカード「か」を開く。ペンツールで濁点をかき、「が」にする。元に戻す機能、消しごむ機能、ペンツールの太さを変える方法を確認したうえで、消したり書き直したりする。</li> <li>これから送られるカードに記載しているひらがなのうちどれか1文字を濁音にすると違う意味の言葉になることを説明する。まずカードの縁に色が無いカードのうち「すす」を子供たちのマイボード送る。各自どの1文字に濁点をつければいいか考え、カードに濁点をつける（答えは「すす」）。</li> <li>その後、カードの縁に色が無い他のカード（「こま」「たい」「はし」「ひる」「からす」「きん」「さんねん」）を1セットずつ送り、それぞれ同様に取り組む。</li> <li>黄色の縁のカード「おんふ」を子供たちのマイボードに送る。「ふ」を濁音にすると「おんぶ」になることを全体で確認する。</li> <li>「おんぶ」が他の言葉にならないか考え、「ぶ」を半濁音にすると「おんぷ」になることを確認する。</li> <li>ペアでみんなのボードにあるひらがなカードを自由に使って組み合わせ、カードに濁点や半濁点をつけて言葉を作る。他にも濁音や半濁音になると違う言葉になる言葉を考えて、カードやノートに書いてペアで見せ合う。</li> </ol>		
サポータ おすすめ ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>濁音がつくと違う言葉ができることを、手を動かして思考することができます。</li> <li>カードの作成、カードの複製、カードの連結、ペンで書き込む、書き込みを消すなど、学びながら自然にタブレットの基本操作の練習ができ、情報活用能力の育成につながります。</li> </ul>		